

い

編集発行：池田市議会
住所：大阪府
池田市城南
1丁目1番1号
郵便番号：563-8666
TEL：072-752-1111
FAX：072-753-5414
[http://www.city.ikeda.
osaka.jp/](http://www.city.ikeda.osaka.jp/)

けだ

No.154

いけだ市議会だより

平成29年(2017年)5月1日



水月公園にて

3月定例会 …… 2

請 願 …… 2

意 見 書 …… 3

議 会 日 誌 …… 3

議 決 結 果 …… 3

各派代表質問 …… 4

委員会レポート …… 11

やまばと …… 12

いけだ市議会だよりは再生紙を使用しています。

3月定例会

3月定例会は、3月3日に開会し、市長から提出された報告案件1件と平成29年度各会計予算など議案31件、並びに人事案件2件は本会議及び委員会で審議を行い、いずれも承認・可決・同意しました。

また、市長の「平成29年度施政及び予算編成方針」と教育長の「平成29年度教育方針と主要施策」が発表され、それに対する各派代表質問を3月9日に行い、市民の声を市政に反映させるため、それぞれの立場から活発な議論を行いました。

そして、3月30日には、市長から提出された追加議案3件を審議し、いずれも原案どおり可決して3月定例会を閉会しました。

一般会計予算は369億円

平成29年度予算総額は、85億4546万円で前年度当初予算と比べて5.2%、42億2350万円の増となっています。また、一般会計予算は368億9900万円で、前年度当初予算と比べて6.8%、23億4300万円の増となっています。

《教育》

「教育日本一」をめざし、電子黒板などを全小・中学校の普通教室に配備し、教育環境の充実に努めるとともに、外国人講師の配

置等を実施する英語教育推進事業「池田くまるとはばたぎ塾」を強化することで家庭学習を支援する地域学習教室事業などに合計8065万円計上しています。

《子育て》

私立保育所に新規採用された保育士に就職支援補助金を交付するなど保育士の確保に努めるため、385万円を計上しています。

《福祉》

「在宅看取り日本一」に向けて、地域の医療・介護関係者が連携し、在宅医療・介護サービスの提供体制を構築するとともに、在宅での看取りについての講演会などを開催するため、1701万円計上し

ています。

《環境》

現在、不燃ごみとして処理している小型家電について、回収ボックスを設置することで再資源化を図るなど、リサイクル推進事業に912万円計上しています。

一般会計予算の反対意見としては、福祉の拠点である保健福祉総合センターの民間への管理委託はすべきでない。また、石橋プラザの市民サービスコーナーの廃止は容認できない。チャレンジテストは高校入試をゆがめ異常な競争を押しつけており、不参加とすべき。広報誌発行は市が持つべき根幹の業務であり委託に反対するとの意見がありました。

一方、賛成意見としては、コミュニティスクールや特認校制度を導入するほごう学園に関する予算は細河・伏尾台地域の活性化にもつながることが期待できる、新たな防災情報システムの構築など、市民の生命や安全な暮らしを守ることに重点を置いている、観光とまちづくりを一体的に進め、市民生活に根ざしたきめ細やかな予算編成であるとの意見がありました。その他、さまざまな意見がありましたが、賛成多数を持って原案通り可決しました。

平成29年度主な重点施策

事業名	予算額	事業内容
池田駅周辺エリア回遊推進事業	4,640万円	地元事業者・関係団体などと連携し、池田版DMOの構築を進める。また、まちの魅力やおもてなしを一元的に提供し、回遊性を高めるため、池田駅改札付近へのインフォメーションセンター開設に向けた取り組みを行う。
石橋住宅建設事業	7,909万円	老朽化した石橋住宅について、住宅建設・公園整備・余剰地活用を一括して行う事業者を選定し、建てかえ工事に着手する。
親元近距離居住応援事業	200万円	親世帯が本市に既に居住している方を対象に、本市でマイホームを新規取得するなどの際の登記費用を20万円まで補助し、介護や子育てなど、お互いに助け合いながら暮らせるまちづくりを進める。
妊娠・出産支援事業	221万円	産前・産後の相談支援の強化として、要望が多い授乳相談を助産師が実施する機会をふやし、育児不安の解消に努める。
いじめ・不登校等トータルサポート事業	924万円	いじめや不登校、問題行動対応のためのスクールアシストメイトを全小・中学校に配置することで課題を抱える児童・生徒及びその保護者を支援する。また、基本調査・教員向け研修・児童生徒支援プログラムなどを実施する。

請願

3月定例会に市民から提出のあった請願の審査結果は、次のとおりです。

○石橋プラザの市民サービスコーナー存続を求める請願
不採択

議 会 目 誌

意見書

3月定例会においては、次の意見書を採択し、関係機関に送付しました。

○所得税法の寡婦（夫）控除規定の改正を求める意見書

2月	3月	4月
2月20日 まちづくり防災特別委員会	3月3日 市議会定例会 市議会だより編集特別委員会	4月6日 市議会だより編集特別委員会
2月28日 予算内示会 各派代表者会議 議会運営委員会	3月9日 市議会定例会 市議会だより編集特別委員会	4月12日 市議会だより編集特別委員会
	3月10日 市議会定例会	
	3月13日 土木消防委員会	
	3月15日 厚生委員会	
	3月23日 文教病院委員会	
	3月24日 総務委員会	
	3月30日 各派代表者会議 議会運営委員会 市議会定例会	

○市長提出議案及び議決の結果

議 案 名	議決の結果
処分報告について 専決第4号 池田市国民健康保険条例の一部改正について	承認（全員異議なし）
池田市長の調査等の対象となる法人の範囲を定める条例の制定について	原案可決（全員異議なし）
池田市大阪国際空港北地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定について	原案可決（全員異議なし）
池田市個人番号の利用等及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	原案可決（賛成多数）
池田市個人情報保護条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償条例の一部改正について	原案可決（賛成多数）
池田市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市介護保険条例の一部改正について	原案可決（賛成多数）
池田市建築基準法施行条例等の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
市立池田病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市水道事業給水条例及び池田市下水道条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市立幼稚園条例の一部改正について	原案可決（賛成多数）
池田市と豊能町との一般旅券の申請受理等に関する事務の委託に関する協議について	原案可決（全員異議なし）
大阪府豊能地区教職員人事協議会規約の一部変更に関する協議について	原案可決（全員異議なし）
池田・府市合同庁舎非常用発電設備等整備電気設備工事請負契約の締結について	原案可決（全員異議なし）
財産区管理委員の選任について	同意（全員異議なし）
人権擁護委員の推薦に関する諮問について	同意（全員異議なし）
平成28年度池田市病院事業会計補正予算（第5号）	原案可決（全員異議なし）
平成28年度池田市水道事業会計補正予算（第4号）	原案可決（全員異議なし）
平成28年度池田市公共下水道事業会計補正予算（第4号）	原案可決（全員異議なし）
平成28年度池田市国民健康保険特別会計補正予算（第8号）	原案可決（全員異議なし）
平成28年度池田市介護保険事業特別会計補正予算（第5号）	原案可決（全員異議なし）
平成28年度池田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第5号）	原案可決（全員異議なし）
平成28年度池田市一般会計補正予算（第10号）	原案可決（全員異議なし）
平成29年度池田市病院事業会計予算	原案可決（全員異議なし）
平成29年度池田市水道事業会計予算	原案可決（賛成多数）
平成29年度池田市公共下水道事業会計予算	原案可決（賛成多数）
平成29年度池田市国民健康保険特別会計予算	原案可決（賛成多数）
平成29年度池田市財産区特別会計予算	原案可決（全員異議なし）
平成29年度池田市介護保険事業特別会計予算	原案可決（賛成多数）
平成29年度池田市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決（賛成多数）
平成29年度池田市一般会計予算	原案可決（賛成多数）
池田市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
訴えの提起について	原案可決（全員異議なし）
池田・府市合同庁舎非常用発電設備等整備建築工事請負契約の締結について	原案可決（全員異議なし）
池田・府市合同庁舎非常用発電設備等整備電気設備工事請負変更契約の締結について	原案可決（全員異議なし）
平成29年度池田市一般会計補正予算（第1号）	原案可決（全員異議なし）

代表質問

民社クラブ議員団

前田 敏 内藤 勝



質問者 前田 敏

厳しい財政状況の下、
市民本位の効率・効果的な市政を

**経済見通しと
立ちはだかる壁とは**

問 国のデフレ脱却の模索と関連し、本市の財政をどの様に分析しているのか。また、施政方針での立ちはだかる「壁」の意味を問う。

**財政構造は厳しく
諸課題が多い**

答 所得環境は改善し経済の好循環は進展しているが、本市では法人市民税をはじめ市税収入が低迷すると見込まれ、社会保障関係費、公共施設の更新経費の大幅増など財政構造は厳しい状況。また、「壁」とは人口減少や社会保障経費の増加等の現実を「壁」と捉え、打破するための池田らしい取り組みの意味を含めたもの。

**ファシリティマネジメント
活用を**

問 施設の効率的な管理運営・有効活用に導入し、関連費用の最小化・快適・魅力的な施設をめざすべき。

**地域の声を反映させながら
推進**

答 ファシリティマネジメントの考え方を取り入れながら敬老の里のあり方について産官学連携で研究を進めている。共同利用施設の

再編については、全体のあり方を提案するとともに、地元の意見を集約し必要な対応を行う。

**日本版CCRC構想への
対応は**

問 中高齢者が多世代の地域住民と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、医療・介護を受けられることができる地域づくりを石橋住宅建てかえ事業や空き家の利活用へ反映できないか。

**生涯活躍できる
体づくりを推進**

答 生活支援コーディネーターを中心に、高齢者の社会参加、介護予防の充実を図る。石橋住宅建てかえ事業には基本構想に基づき、事業目的に反映させ、空き家の利活用には地域活力の維持・発展の貴重な資源として、地域の状況に応じた魅力ある住まい・まちづくりに活用していく。

**保育環境整備
今後の進め方は**

問 「子ども・子育て支援日本一」を掲げ、保育環境の整備に努めるとしているが、昨年度の緊急対応宣言後の状況と今後の進め方は。

**保育の量・質を確保
幼保一体化も**

答 待機児童は緊急対応宣言を起点に昨年9月に解消、来年度も認定こども園3園、保育所1園の認可とともに、保育所支援で保育の量・質を確保。幼保一体化については幼稚園・保育所のあり方を教育委員会と検討し、ひかり幼稚園と呉服保育所の一体化を進める。

**新学校給食センター建設に
ついて**

問 新学校給食センターの機能や建設予定地は。

細河地域に用地を確保予定

答 安全・安心な給食提供、食育・防災拠点の機能、環境への配慮などを基本設計に反映させる。建設場所は細河地域で自治会、実行組合に対して建設用地の確保を依頼し、一定の理解を得ているところ。



各派



質問者 西垣 智

自由クラブ議員団

西垣 智 倉田 晃

池田市民みんなが、
住んで良かったと思えるまちに

テーマパーク構想 今後の展望は

問 「池田のまち みんなまとめてテーマパーク構想」に向けた各地域のプランや進捗状況は。

まちづくりの展望・方向性を示す

答 伏尾台地域については、地方創生拠点整備交付金を活用した旧伏尾台小学校改修事業を3月の補正予算に計上し、来年度中に整備を進めていく。細河地域については、4月から細河地域振興担当職員を配置し、地域との連携・協働を推進していく。石橋地域については地域の拠点となる施設として図書館機能と共同利用施設機能等を併せ持つ複合施設の整備を予定している。池田駅周辺については池田駅を中心とした池田版DMOの構築や池田駅前インフォメーションセンターの開設に取り組み。全体構想については、平成29年度にディレクターからの意見や提案などを踏まえ、中長期のまちづくりの展望・方向性を示す。



在宅看取り日本一 取り組み内容は

問 在宅看取り日本一の取り組みについて問う。

在宅医療・介護連携体制 充実図る

答 介護保険法に位置づけられた、在宅医療・介護連携体制の充実を図り、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域づくりに努める。

検討会議の提言に対する 考えは

問 池田市地域分権検討会議からの提言に対し、今後の地域分権制度についての考えは。

活力に満ちた 地域社会実現へ

答 地域分権検討会議においては、地域分権制度は今後の池田市において引き続き重要であるとの見解が示され、来年度は検討会議での提言を踏まえ、暮らしやすく、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現に向けて、さらなる一歩を踏み出す。

地域学習教室事業 現状と今後は

問 地域学習教室事業について、現状と拡充内容について問う。

申し込んだ全生徒 無償で受け入れ

答 平成28年度の「池田ふくまるはばたき塾」は、中学生を対象に、市内6カ所の公共利用施設で、英語と数学の学習支援授業を実施し、申し込んだ全生徒を受け入れ、無償で学習機会を提供している。

人型ロボット ペッパーの活用策は

問 平成29年度から、プログラミング教育の実践ツールとして、全市立小中学校に約100台導入されるが活用策について問う。

問題解決能力を養えること 認識

答 プログラミングを通して、物事を順序立てて進める論理的思考力や、自分の意図したプログラム成功に向けて実行と検証を繰り返す問題解決能力を養えると認識。

代表質問

市民クラブ議員団

山田正司 渡邊千芳
川西二郎 三宅正起
中田正紀



質問者 山田正司

人口減少で財政規模が縮小、 行政サービスの内容を精査

さまざまな子育て施策について

問 ①平成29年度保育所の入所状況について②介護と育児のダブルケアの保護者数について③医療ケア児や障がい児の受け入れ、入所状況について④保育士確保策について⑤具体的な子育て施策について。

高まる保育需要への対応を最優先

答 ①平成29年度保育所申込者461名に対し357名の入所が決定②介護要件の入所申込は2名③医療ケア児入所1名、障がい児受入れ49名④保育士の家賃補助を行う宿舎借上げ事業を平成27年度より実施。ハローワーク池田と共同でセミナーや合同就職面接会を実施⑤認定こども園3園、保育所1園の認可による109名分の保育の受け皿確保。保育士確保のための就職支援補助金の創設。民間保育所への助成増額による障がい児保育・看護師配置の促進。

**公共施設等
総合管理計画について**

問 再編整備は全庁的に進捗管理を。共同利用施設、公私立保育所幼稚園の耐震性は。

**再編整備は
全庁的な理解・対応で**

答 産官学連携のプロジェクトに庁内横断で若手職員も参加し、敬老の里のあり方も研究。地域住民の意見を踏まえつつ将来的な維持管理等、必要な対応を行う。共同利用施設は新耐震基準以前の22館のうち石橋・秦野は診断を実施。未耐震の石橋保育所、なかよしこども園は今後のあり方も含め検討。私立幼稚園7園は耐震不要または建てかえ予定。私立保育所13所中12所が耐震化済み。残り1所と認定こども園1園も今後耐震化予定。

**石橋駅前会館
建てかえの内容は**

問 石橋駅前会館の老朽化に伴う建てかえ計画の内容、機能の構想は。ミニコンサートができる音響装置を備えたスペースの設置を。

**図書館機能をあわせ持つ
複合施設**

答 6階建て延床面積約24000㎡、2～4階を図書館、5～6階を共同利用施設等とする方向で検討中。音響装置などの設備は機能の詳細の中で考えていく。

**ふえる認知症
支援対策を**

問 支援に取り組む初期集中支援チーム及び地域支援推進員の体制は。認知症対策基本条例の制定は。

**初期集中支援チーム
立ち上げる**

答 地域包括支援センターの医療介護職8名、サポート医4名程度を予定。地域支援推進員は市立池田病院の看護師1名を予定。条例制定は国の動向を踏まえて検討。

**避難行動要支援者対策
進捗状況は**

問 災害時に支援を受けたい人と支援者のマッチングが一日も早く望まれるが。

**協議会設立に向け
整備を働きかけ**

答 防災訓練や講演等を通し、各小学校区や地域への働きかけを継続的に行い要支援者対策を進める。



各派



質問者 富田 裕 樹

大阪維新の会池田議員団

富田 裕 樹 石田 隆 史

市民の想いに応える 新しい池田市政をめざす

予算編成のポイント

問 予算編成において、財源の確保・組みかえ・創出・投入について、それぞれ得失した点を問う。

財政規律の確保に留意

問 国・府補助金などの一層の活用による歳入の確保や事務の合理化を図りつつ限られた財源で「選択と集中」を行った。

自治体間競争を生き残る方策は

問 大阪都市圏の中で、池田市をどのような位置づけにしていくことが自治体間競争の中で生き残りを図られると考えているのか。

魅力的なまちづくりをめざす

問 大阪府や近隣市町村等と連携しながら、本市の状況を見据えて、他自治体に負けない魅力的なまちづくりをめざしていく。

歩道のバリアフリー化 推進すべき

問 歩道の幅・勾配・段差の改善など誰もが使いやすいするためのバリアフリー化をさらに進め、駅前の駐輪場の改善も図るべき。

重要度の高い場所から進める

問 池田箕面線・池田駅神田線で歩道整備を進めており、今後、重要度の高い場所を選定し歩道再整備を進める予定。また、放置自転車の改善や駐輪需要をカバーする対策を、より一層強化していく。

教育課題とその対策は

問 現在の日本の教育課題とそこから見た池田の教育課題は何であると捉えているのか。

グローバル社会への 対応力を育成

問 次期学習指導要領の実施に先駆け「主体的・対話的で深い学び」につながる授業改善や教育課程の編成に取り組むことが重要。

使いやすい 魅力的な図書館に

問 誰もが使いやすいことも魅力的な図書館にすべきと考えるが。



特色ある図書館づくりに 努める

問 蔵書の充実や地域に根差した特色ある図書館づくりを行い、更なる住民サービスの向上に努める。

待機児童解消等 子育て支援強化策は

問 限定待機も含めた待機児童の解消を進め、子育て支援をさらに強化すべきと考えるが見解を問う。

さらなる保育の質と量を 確保

問 来年度も認定こども園3園、保育所1園の認可に伴う保育の受け皿や保育士の確保に向けた民間保育所への支援により、さらなる保育の質と量の確保を行う予定。

病院経営における 展望と課題は

問 病院経営方針の進捗状況と今後の展望、課題について問う。

単年度での黒字化が 当面の課題

問 単年度での黒字化が当面の経営課題と認識。新たな診療科の標榜による増収のほか、経営委員会での議論を踏まえた人件費の見直しなどにより目標を達成していく。

代表質問

日本共産党議員団

藤原 美知子 白石 啓子
小林 吉三



質問者 藤原 美知子

誰もが安心して暮らせる
福祉・医療・教育充実のまちへ

統一保険料でなく 国保料引下げを

問 急速な高齢化や低所得者層の増加などの問題を抱えたまま、平成30年度から新たに都道府県化が実施される。統一保険料率の設定や収納率引き上げ強化で、さらなる負担増も懸念されるため、撤回を求める。市独自の繰入で高すぎる保険料を引き下げてはどうか。

法定外繰入は 慎重に取り扱うべき

答 広域化に際し、府は医療費格差が比較的少ないため統一保険料とする方針。一般会計からの繰入は国の基準通り行っており、法定外繰入は慎重に行う必要がある。

在宅介護だけでなく 施設の増設を

問 高齢者の適切な在宅生活の継続と家族介護者の就労継続の実現は家族だけでは対応できない。自宅では暮らせない高齢者のために特別養護老人ホームの増設で、待機者対策を行うべきではないか。

医療・介護連携体制の 充実を図る

答 在宅生活の継続は在宅医療・介護連携に関する相談支援事業の実施、在宅看取り日本一のまちに向けた取り組みを行う。家族介護者の就労継続は本人、家族の24時間対応型サービス等の利用により対応している。特別養護老人ホームの増設は待機者数、保険料への影響も踏まえ、第7期介護保険事業計画策定の中で検討すべきもの。

待機児童対策と 学童保育の拡充を

問 保育所の待機児童対策は、認可保育所の受け皿確保と保育士の処遇改善抜きには解決できない。新年度の待機児童対策について問う。留守家庭児童会の対象学年が6年生まで拡大されたが、市の教室拡大計画を問う。また支援員の処遇改善が必要ではないか。

待機児童は 4月にはなくなる予定

答 57名の限定待機児童を除き3名の待機児童となったが、その3名は4月1日までに入れるだろう。認定こども園3園等の認可に伴う受け皿の確保や保育士確保に向けた民間保育所への支援を行う予定。

35人学級を 計画的に全学年へ

問 どの子にも行き届いた教育を進めるために少人数学級の推進は欠かせない。新年度より35人学級を小学4年生まで拡充することを歓迎するが、今後も計画的に拡大し中学3年生まで実施すべきでは。

国・府の動向 市財政を見据え検討

答 35人学級の必要性や教育的効果は認識している。小学4年生は自覚に目覚め、学習や運動でつまずきやすくなるため、きめ細やかな指導が必要であり拡充の対象とした。国に職員定数改善の要望をあげるとともに国・府の動向や市の財政を見据え検討していく。



各派



【質問者】 小林 義典

自民同友会議員団

細井 馨 木下 克重
小林 義典 浜地 慎一郎

豊かな心が育まれる教育と 時代に即した福祉政策の推進

日本遺産認定への 取り組み内容は

問 池田市歴史文化基本構想の内容充実を図り、日本遺産認定に向けての具体的な取り組み内容は。

魅力をPRし 取り組みを進める

答 池田市歴史文化基本構想については、平成29年度には市民の意識調査や補足調査を行い、具体的な文化財保存活用計画を盛り込み、さらなる内容の充実を図っていく。また、日本遺産認定に向けては、本年度、まずは「ものづくりの機運に育まれた事始めのまち」としての申請を行ったところであるが、平成30年度にインスタントラーメン誕生60周年を迎えることなども踏まえ、来年度以降、本市の魅力をさらにPRできる形での日本遺産認定に向けた取り組みを進めていく。

空き家活用促進と 登記費用補助

問 特定空家等の増加抑制と空き家の利活用促進策は。
また、親世帯が本市に居住している方を対象とした登記費用の補助内容について問う。

子育て支援や 介護支援につなげる

問 特定空家等は、平成28年度中に策定予定の池田市空家等対策計画に基づき、指導、勧告などの必要な措置を徹底していく。空き家の利活用促進は、空き家セミナーによる利活用の事例紹介や専門家による相談会を開催し、所有者の意識啓発、支援に努めるとともに、新たな補助制度の創設などを検討していく必要があると考える。

本市独自の 保育士確保対策は

問 本市独自の生活資金補助や給与加算についての見解を問う。



新規保育士へ 就職支援補助金支給

問 民間施設間における給与のばらつきもあり、一律に給与加算を行うことは難しいことから、新規採用された保育士に対する祝い金として就職支援補助金を支給する。

プログラミング教育 進め方は

問 人型ロボット「ペッパー」の導入に伴う教職員の研修はどのように行うのか。また、各学校への導入スケジュールと対象学年及びプログラミングコンテストの実施予定について問う。

優秀なものは コンテスト推薦予定

問 先行導入した石橋小学校を会場とし、実機を使用した操作研修会を開催予定。3月中旬に小中学校へ実機が納品。4月以降小学校は4～6年生において総合的な学習の時間や科学・情報の時間に、中学校は技術科の時間等でプログラミング教育などを実施していく。成果のうち優秀なものは、2月に開催予定のコンテストに推薦予定。

各派代表質問

公明党議員団

多田隆一 馬坂哲平
荒木眞澄



質問者 多田隆一

誰も置き去りにしない、
市民を大切に、心の通う市政を

子供と若者の成長が 希望の原動力

問 青年の数だけ希望があり、未来がある。優秀な青年群の育成こそ、希望あふれる池田市構築に最も必要。「誰も置き去りにしない」視点で、いじめや不登校の課題解決、「子どももの貧困」対策を。

教育・子ども子育て支援 日本一を

答 いじめや不登校については子ども一人一人を理解し、個に応じた適切な指導に努め、各種専門家も活用。子どもの貧困対策は各部署と連携し、教育・生活・保護者の就労・経済的支援にも取り組む。

「住宅の充実」 制度の早期構築を

問 国交省は、登録した空き家や空き室に、子育て世帯や高齢者が入居した場合、家賃補助をする住宅セーフティネット制度を創設。本市でも早くこの制度がスタートできるように取り組むべき。



池田流の制度構築を検討

答 府の住宅供給公社の団地の建てかえも始まることから、代替住宅として検討する。他にもURにおいて各種制度を展開されているので、本市からも主体的に提案し、池田流の住宅制度を検討する。

安心して子育てできる 制度充実を

問 授乳相談を通してニーズをキヤッチし、アドバイザーや関係機関につないでいくことがポイント。「いくまる子ども券」の活用対象を拡大し、多くの方が活用できる産後ケア事業の充実を。

各種の制度活用で 充実を図る

答 ニーズの高い授乳相談を機会として、周産期の相談支援の充実を図り、育児不安や孤立感の解消に取り組む。民間の相談員も活用検討。「いくまる子ども券」の対象拡大については検討課題とする。

対処スキルの習得で 問題の解決を

問 文科省の委託事業である「子どもみんなプロジェクト」で、子どもたちが直面する問題に、自分

の力で解決できるように「勇者の旅プログラム」が取り上げられ、大きな成果が報告されている。本市でも活用できないか。

調査研究結果を踏まえ検討

答 本市も、「子どもみんなプロジェクト」の連携教育委員会として今年度より参加。調査研究、教員への研修を実施する予定。「勇者の旅プログラム」は調査

研究結果を踏まえて実施を検討。

元氣なシニア層 社会参画促進を

問 元氣な高齢者がふえ、人生4ステージ時代になったと言われている。定年後のステージに関して、相談や案内ができる窓口の設置が必要となるのでは。

10万市民総活躍社会 めざし取組む

答 現役引退後もなお、豊かな知識や経験をお持ちのアクティブシニア層が多数おられると認識。そうした方々が、活躍できる場を見出し、力を発揮していただける仕組みづくりに努める。

委員会 レポート

3月定例会では、市長から提出された議案のうち24件の議案及び請願1件を、市議会に設置している4つの常任委員会に審査付託し、細部にわたり慎重に審査しました。

3月30日の本会議では、各委員長が審査の結果報告を行い、市長から提出された議案はいずれも原案ごおり可決しました。

また請願1件については不採択と決しました。

各委員会での審査の主な内容は、次のとおりです。

総務委員会

**調査対象を定める条例の制定
目的と効果は**

〈池田市長の調査等の対象となる法人の
範囲を定める条例の制定〉

問 条例制定の目的と調査等を行うことで期待できる効果について見解を問う。

**法人の健全な経営と
本市財政規律の確保に努める**

答 調査対象となるのは、市が資本金等の4分の1以上2分の1未満を出資している法人であり、その経営状況は市の行財政にも大きく影響を及ぼすものであるため、調査等により法人の健全な経営と本市財政規律の確保に努めたい。

また、対象となる法人の事業計画や決算状況の報告を受ける中で、法人と緊密な連携が築け、市民サービスの向上にもつながるものと考えている。

**テーマパーク構想
今後の策定方針は**

〈一般会計予算〉

問 今回、テーマパーク構想推進事業として、1359万4千円予算計上している。本事業は、テ

マパーク構想ディレクターや関係者などの意見を聞きつつ、「伏尾台創生プラン2020」などの3地域から提案のあったプランを踏まえたテーマパーク構想を策定するものだが、今後の策定方針について問う。

**池田地域未来夢プラン
新たに策定予定**

答 平成29年度は、民間事業者とも連携しながら、3地域からのプランに加え、もう一つ池田版DMOの構築や池田駅改札付近でのインフォメーションセンターの開設等を踏まえた「池田地域未来夢プラン」を策定し、全体的には総合計画の改定も視野に入れながら、テーマパーク構想を策定していきたいと考えている。

文教病院委員会

**教育日本一めざす
学力向上策は**

〈一般会計予算〉

問 教育日本一を掲げる中で、豊かな心と健やかな身体とともに確かな学力を育むことが重要な課題と考えるが、本予算に計上されている学力向上を目的とした事業にはどのようなものがあるのか。

**家庭学習の支援や
英語教育の充実を実施**

答 教育力の向上を図り、次期学習指導要領の趣旨に沿った充実した指導を行うため、各学校園で授業、保育の研究が推進されるように研究委託料や行事委託料を計上している。

また、民間教育事業者と連携した放課後の学習教室である「池田ふくまるはばたき塾」についても実施期間の延長、中学3年生の開催場所の増設、小学校高学年への対象拡大などの拡充を図ることで家庭学習の支援に努めていく。

さらに、本市の特色でもある英語教育の充実を図るために、外国人英語指導助手の活用に加え、目標を持って学習に取り組めるよう外部英語検定の導入を予定している。あわせてオンライン英会話や電子黒板を活用した英語デジタル教材を導入することで英語のコミュニケーション能力等の向上も図っていく考えである。



厚生委員会

国民健康保険の広域化 本市への影響は

〈国民健康保険特別会計予算〉

問 平成30年度から実施される国民健康保険の広域化について、大阪府では保険料率を統一にする方向で進められている。比較的、所得水準の高い北摂地域などにおいては、さらなる負担の増加が懸念されるが、広域化による本市への影響について見解を問う。

保険者規模の拡大により 急激な保険料上昇抑制を期待

答 国民健康保険の財政主体が市町村から都道府県に移行することで、保険者の規模が拡大し、高額な医療費の発生などの様々なリスクが都道府県内全体で分散されることになり、運営の安定化が図られる。本市についても、保険者の規模としては大きくないため、その年その年の医療費の状況によっては、保険料が急激に上がるということがこれまでもあったが、そうしたりリスクが大府全体で薄められるため、保険料の急激な上昇の抑制が期待できる。一旦、保険料率は統一の方向で進むが、将来的に

は、それぞれの基礎自治体の考え方や財政的な能力に依りて、低所得者に対する別途の支援を行うなど、対応にはらつきが出てくるのではないかと考えている。

土木消防委員会

親元近距離居住応援補助 補助条件を設けた理由は

〈一般会計予算〉

問 親元近距離居住応援補助の要件設定の経緯と「18歳未満の子を持つ世帯」という補助条件を設けた理由について問う。また、補助条件とは逆に親が子ども世帯の住む池田市で住宅を購入した場合の考え方について問う。

人口減少問題対策として 子育て世帯を呼び込む

答 原点は、親元を離れた子どもが帰ってくることを想定しており、その中でも子育て世帯が親元に戻ってくる方が人口減少問題の観点からも望ましいと考えている。しかし、「在宅看取り日本一」を標榜していることもあり、親の看取りで親が子の住む池田市に来る場合や、18歳未満の子を持つ子育て世帯以外にも様々な家庭の形が想定できるため、今後は幅広い範

囲で前例も確認しながら要綱で整備をしていきたい。



議会の予定

市議会の役員選出を主として審議するため、5月15日に臨時会を開催する予定です。

6月定例会は、右記の日程で開催する予定です。本会議・委員会はいつでも傍聴できます。開会はいずれも午前10時からの予定です。(定員あり)

6月 5日(月)	本 会 議
6月 8日(木)	委 員 会
6月14日(水)	委 員 会
6月15日(木)	委 員 会
6月16日(金)	委 員 会
6月26日(月)	本 会 議
6月27日(火)	本 会 議

やまばと

風にそよぐ木々の緑もまぶしい季節となりました。

さて、今回の市議会たよりでは、平成29年度「施政及び予算編成方針」「教育方針と主要施策」を受けての各派代表質問をはじめ、各常任委員会での審議の主な内容などを掲載させていただきました。社会保障関係費の増加や老朽化施設の課題など、厳しい財政状況ではありますが、それらの課題を希望に変えていくように挑戦してまいります。どんな課題であっても、人間がつくり出したものである以上、人間の手で解決できないはずはないと考えます。

私たち編集委員は今回で最後の編集となります。この一年間のご愛読、誠にありがとうございました。次号からは新しい議会構成のもと、新編集委員が、より良い紙面づくりをめざして取り組んでまいります。

引き続き「いけた市議会たより」をご愛読いただきますよう、よろしくお願いたします。

市議会だより 編集特別委員会

委員 長	荒 木 眞 澄
副委員 長	小 林 義 典
委 員	小 林 吉 三
委 員	倉 田 晃
委 員	中 田 正 紀
委 員	石 田 隆 史
委 員	前 田 敏